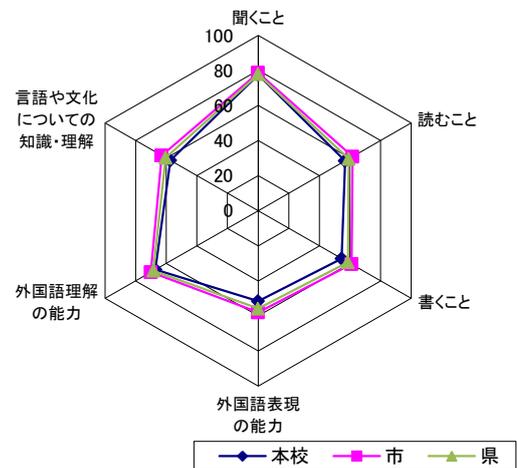


宇都宮市立陽南中学校第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	77.6	78.7	77.8
	読むこと	56.8	61.7	59.2
	書くこと	54.6	61.0	58.7
観点	外国語表現の能力	51.6	57.9	55.8
	外国語理解の能力	67.1	70.1	68.4
	言語や文化についての知識・理解	57.4	63.0	60.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○まとものある英文の聞き取りでは聞き取りの中で最も県平均値を上回っている。今テストでは待ち合わせの場面での聞き取りで、県平均を3.0ポイント上回っており、多くの生徒が時刻や場所を正確に聞き取ることができている。</p> <p>●対話文の聞き取りと応答では聞き取りの中でも、応答に関する設問の正答率が最も低い。文法に基づく応答は身につけているが、たとえば、'Oh, thank you'に対する応答が複数あるように、会話表現での様々な応答の仕方が県平均を5.5ポイント下回っている。</p>	<p>待ち合わせの場面(時刻や場所)だけでなく、様々な場面でのまとものある英文の聞き取りを行い、指導事項の定着の度合いを分析しながら、継続的に指導をしていく。</p> <p>応答の仕方は対話活動と密接しているので、対話活動の中で、応答表現を取り入れるとともに、帯学習などで応答表現を定着させていくなど繰り返しの指導が必要である。</p>
読むこと	<p>○まとものある英文の読み取りでは県平均を1.8ポイント下回っており、読解力はやや劣っている結果となっている。物語と説明文があるが、物語が2.9ポイント、説明文が1.6ポイント下回っており、物語の読解がやや劣っている結果となった。</p> <p>●手紙文の読み取りでは県平均値を3.0ポイント下回っており、大きな課題の一つである。特に手紙文は、誰が誰に何のことを書いているのかを考えながら読むことが必要で、特に代名詞の理解が不足していると考えられる。</p>	<p>読解力には語彙と文法の知識が不可欠となる。特に語彙力を高めることが必要で、単語の練習を家庭学習の課題とし、小テストを実施するなどして、語彙力を高めていく。</p> <p>手紙を読んだり書いたりする機会の少なくなった昨今なので、意図的に手紙形式で読解力を高める必要がある。物語や説明文と同様、代名詞を含めた語彙力を同時に高めていく。</p>
書くこと	<p>●「書くこと」の中でも大きな課題となっている内容である。数値で見ると、県平均値を4.1ポイント下回っている。テーマに基づく短文、例えば自分が好きな人物、を書くことはできるが、それについての説明文や意見文を書く力、すなわち、まとまった英文を書く力が不足している。</p>	<p>総合的な力が必要なので、語彙力や語順などの基礎事項の指導を繰り返すことで、作文力を高めていく。</p>

--	--	--